

# 肛門手術の 排便・疼痛コントロール

たいらクリニック

平成28年7月23日

第57回 東海肛門疾患懇談会

## 術後管理のポイント

手術内容は・・・

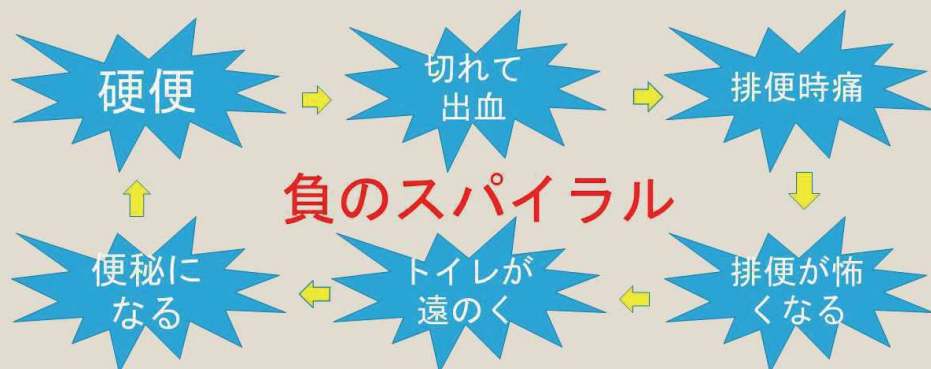
痔核、痔瘻、裂肛とさまざま。

術後管理で大切な事は・・・

排便

疼痛

## 《排便と疼痛のコントロール》



## I 排便コントロール

## I - ① 排便コントロール(術前)

- 排便コントロールは術前から始める。
- 手術2日前からマグミットを処方し、便を軟らかい状態に。



- 術前にはレシカルボン座剤で排便を促す。

## I - ② 排便コントロール(術後内服)

- 術後もマグミットやラキソベロン、患者さんの状態にあった漢方などを処方。



## II 疼痛コントロール

### II - ① 疼痛コントロール(鎮痛薬)

- 手術終了前にアナペインを注射することにより術後の鎮痛を図る。



- 術後は1日3回ロキソニンと胃薬、頓服でアデフロニック(ボルタレン)を処方。

## 日帰り手術は・・・

『手術はしたいが、家を空けることが出来ないので  
入院できません』

『仕事の都合で長期間お休みが取れません』

『金銭面で入院する事が出来ない』 等々



## 術後は自宅で自分を診る



当院はそのお手伝いを！！！！

そこで当院のお手伝いは・・・

## 《写真がもらえるクリニック》

患部画像	<p>第9W+4 病日</p> <p>圧痛軽度 狭窄なし 残便なし スッキリ出ます</p>	An illustration of a doctor in a white coat and a patient in a green dress sitting in a chair. The doctor is smiling and has his hand on the patient's shoulder.
患部画像	<p>ご卒業です。 快！！！！ 異常時来院</p> <p>創は閉鎖</p>	

## 最後に・・・

術後の排便と疼痛のコントロールの為に  
患者さん自身が自己管理できるよう  
診察時に毎回手紙を渡す工夫を当院では行っております。  
毎回お手紙をもらう事により、治療の経過が目で見え  
完治までの道のりを共に歩む事が出来ていると思っております。  
スタッフ一同、患者さんの声に耳を傾け、情報をカルテで共有し、  
共通の認識を図りながらの看護を行っております。



御清聴有難うございました